



発行者：西成連区地域づくり協議会 発行日：平成29年3月1日

一宮市小赤見字郷浦53(西成出張所内) ☎28-9002

新年度事業計画 ～ふれあいのある「にしなり」～

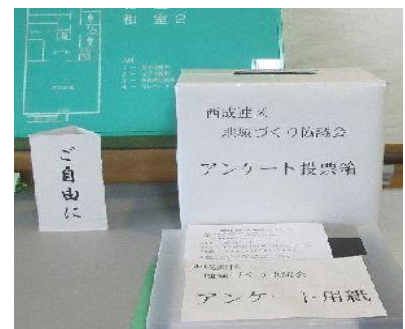
次年度事業計画が役員会等で検討され、いよいよ年度末の3月28日の総会で承認を受けて、新年度の準備態勢が整います。引き続き「安心・安全で『絆』のある地域づくり」を、関係諸団体のご協力とご支援をえて実施してまいります。地域のつながりが「互近助」精神にあふれる、ふれあいのある「にしなり」をめざします。3.11から早6年、東日本大震災の記憶も風化が叫ばれる昨今、熊本地震、鳥取地震なども発生し、「地域防災力アップ」は、地域社会にとって喫緊の課題（特に自主防災組織の活性化）であります。また、少子高齢化社会に突入した今日、見守りネットワークの充実を図ることによって、より安心・安全な地域社会づくりの課題に対応した「自助・共助」豊かな「にしなりづくり」は、地域住民すべてが心がけるべきことでしょう。住民相互の絆を深める新年度事業に、皆様の積極的なご参加とご協力をお願いいたします。

地域づくり協議会アンケートについて（まとめ）

各設問の回答率などは前号でご紹介しましたが、自由記述には次のようなものがありました。

1 協議会の運営・構成（メンバー・進め方）について

①構成団体のヨコのつながり・連携を密に ②若い世代の参画・参加の機会を ③会議が多すぎないか ④町内の負担も考慮し、必須事項のみに取り組む ⑤行事の後には総括し公表 ⑥協議会メンバーの増強（町会役員だけでなく一般住民を入れて活性化をはかる ⑦老人クラブ・女性の会・児童育成協議会等に積極的に役員が出ていろいろ啓発と意見交換を図る ⑧会議の進行が悪い ⑨校区ごとに事業を行えば参加者も増加 ⑩役員負担も考慮して、など。



2 協議会についての周知が不十分（広報のさらなる充実を！）

①4校区の活動内容も広報紙に掲載する ②月によって広報紙の印刷が不鮮明なので、いっそカラーにするなり2か月に1回の発行とする ③案内の回覧だけでは不十分で、隣組長さんからの声かけも大切 ④協議会活動の案内のありかたをより工夫する ⑤ホームページの閲覧・利用を呼びかける、など。 ☆協議会活動は“138nr.com”（ホームページ）でもご案内しています。

3 協議会の取り組む事業について

①交通安全、防犯・防災、認知症講座を多く ②子ども達を含めた防災訓練を ③運転しなくても移動できる対策を ④県内一安心して生活できる地域をめざせ ⑤市民目線で困っていること、興味あるテーマを取り上げる ⑥新住民と旧住民との融合 ⑦引きこもりの出ないように地域でいろいろな催しを月一回開催 ⑧地域の安心安全を連区一体で進める、など。

4 その他の希望や感想

①イベントに参加したい ②文化展・夏祭りなど楽しみです ③花の世話やゴミ掃除ご苦労様です ④他の連区との交流・連携の機会を ⑤役員の方々の尽力に感謝しています、など。